



株式会社 紀陽銀行

2022年9月発行

経営企画部 広報・IR室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL. 073-426-7133

<https://www.kiyobank.co.jp/>

KIYO
FINANCIAL GROUP

統合報告書 2022

統合報告書 2022



銀行をこえる銀行へ
お客様の期待をこえる
地域の壁をこえる
銀行という枠をこえる

いつでもお客様のそばへ飛んでいこう、と思う。
地元を、盛りあげようとする人がいる。
ならば私たちは、
その人の理想をかなえる力になる。
どんな課題にも、本気で向き合い
そこまでやるかと言ってもらえる銀行に。
わたしたちは、お客様の期待を、こえてゆきたい。
いつでも境界線を超えたい、と思う。
わたしたちは、地元を知っている。
そこに暮らすお客様同士を結びつける、
そんな方法を知っている。
結びつける地域が大きくなるが、
どこまでも力になれる銀行に。
わたしたちは、地域の壁を、こえてゆきたい。
いつでも新しい世界へ跳躍したい、と思う。
歴史を紡いできた誇りを胸に
けれども、いままで通りの銀行とは違う、
そんな道を選びたい。
たんなる金融機関ではない
人生を丸ごとまかせてもらえるような銀行に。
わたしたちは、銀行という枠を、こえてゆきたい。

CONTENTS

紀陽銀行について

- 01 紀陽銀行の理念・価値観
- 03 紀陽銀行の歩み
- 05 紀陽銀行の強み
- 09 長期ビジョンについて
- 11 紀陽銀行の価値創造プロセス
- 13 財務ハイライト／非財務ハイライト

トップコミットメント

- 15 トップメッセージ

紀陽銀行の価値創造

- 21 第6次中期経営計画(2021年4月～2024年3月)・初年度の進捗
- 27 **特別対談** 地域との価値共創について
伊東千尋・和歌山大学長×原口裕之・紀陽銀行頭取
- 31 サステナビリティ経営

ステークホルダーとの価値共創

- 33 環境への取り組み
- 36 地域の法人のお客様
- 41 地域の個人のお客様
- 44 多様な人材の活躍推進
- 47 地域社会
- 52 株主・投資家

価値創造を支える基盤

- 53 コーポレート・ガバナンス
- 59 役員一覧
- 61 社外取締役メッセージ
- 63 リスク管理態勢
- 69 コンプライアンス態勢

財務・企業情報

- 71 主要財務データ
- 73 企業情報

当行シンボルマークの由緒



コンセプト
『顔・紀州の太陽』

- シンボルマークは「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」「堅実経営に徹し、たくましく着実な発展をめざす」という経営理念をデザイン化したものです。
<デザイナー：祐泉 隆（ゆうせん たかし）氏>
- コンセプトとしては「笑顔」を素材にして、「紀州の太陽」を擬人化し、未来社会に向けて温かいサービスを提供するというイメージを表現しました。
- 顔は太陽、髪はアンテナで情報源、鼻は三日月で宇宙を暗示しています。口は笑顔のハート型で地域のお客様への感謝の気持ちを表しています。

編集方針

紀陽銀行は、すべてのステークホルダーの皆さまに紀陽銀行グループの持続的な価値創造に向けた取り組みについてご理解いただくため、本報告書を作成いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が提唱する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイドライン」などを参考にしました。

報告対象期間

2021年4月～2022年3月
(一部2022年4月以降の情報を含まず)

見直しに関するご注意

本報告書には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々なリスクや不確実性を内包しています。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見直しと異なる可能性があることにご留意ください。